

生徒の皆さんの「やってみたい!!」をサポート



栗原 令奈さん(中3)

パズルをしたり、風船でバレーをしたり、勉強も楽しく教えてくれて、大好きな時間です。



高水 瑞衣さん(中2)

木工室の看板づくりは楽しかったです。



村野 桃奈さん(中2)

金工室の看板づくりをしました。今はアイロンビーズで小物入れを作ることに挑戦しています。



青木 運さん(中3)

懸賞金付きパズルに挑戦中です。懸賞金をスタッフが楽しみにしているような(笑)。



マジックが得意なSさん(中3)

学習もボードゲームも友達と一緒になので楽しいです。トランプの手品が得意なので「ゆる活」に来てくれたら披露しようかな。



比留間 未織さん(中2)

アイロンビーズでアクセサリー作りをしています。みんなが喜ぶ作品を作りたいな。



森田 正男校長先生

「あいさつ、マナー、身だしなみ」「努力と挑戦」は、人間性や社会性を育てるのに最も重要なです。「ゆる活」のスタッフの皆さんとの触れ合いを通じて、生徒たちが正しくたくましく育ってほしいと願っています。

ナシム
nasimさん

日本に来てから日本語を勉強。日本語、英語、ペルシヤ語を話すトリリンガル。バレーボールも得意なハイパーお姉さん。



宮寺 敏彦さん

元工芸の教師。趣味は木工工作、プラモデル、バイクの整備。生徒の皆さんに創作の楽しさを伝える愛されキャラ。

生徒の皆さんには日本語でうまく伝えられない私の気持ちを表情で感じ取ってくれます。優しい生徒たちやスタッフの皆さんに出会えて、瑞穂町に来て良かったと心から思います。

教室表示の看板は生徒の感性を形にするアドバイスをしただけです。デザインも加工も生徒さんの自作です。完成して喜ぶ生徒の笑顔から元気をもらっています。

瑞穂中学校では、「学びのテーマパーク」の時間を活用し、学習にこだわらない自由参加型の放課後活動、通称「ゆる活」を年に35回程度実施しています。ここでは、生徒が自主的に「やってみたいこと」「学びたいこと」などを見つけ、その取り組みを地域の方（7名）がサポートしています。現在、「ゆる活」では木工、アイロンビーズ、ボードゲーム、将棋、オセロ、トランプ、投資ゲーム、風船バレー、学習などを行っています。今回、5名のスタッフと参加した生徒の皆さんにお話を伺いました。



木工



年間の活動風景

学習



風船バレー



トランプ

小山 由佳さん（コーディネーター）

何事にも積極的に挑戦するアクティブなお母さん。町内会役員もしています。趣味はスキーと家庭菜園。



池谷 功さん

定年退職までエンジニア。7つの資格を持ち、趣味の書道や絵画もプロ級のハイスペックおじさん。



荻野 富子さん

着物の着付け、珠算2級、簿記2級、外国から来た子どもたちに日本語指導をしているスーパーお母さん。

内気な生徒さんが、学年を超えて友達の輪が広がり、今では色々なことに積極的にチャレンジしてくれるようになりました。生徒たちの成長する場に出会えるってかけがえのない瞬間ですね。